

直播管理情報 (乾田V溝直播第2号)

- 管内の乾田V溝直播は、4月13日前後から播種が始まりました。
- 今後は、的確な水管理や雑草防除に努め、苗立ちを確保しましょう。

1 播種後の水管理

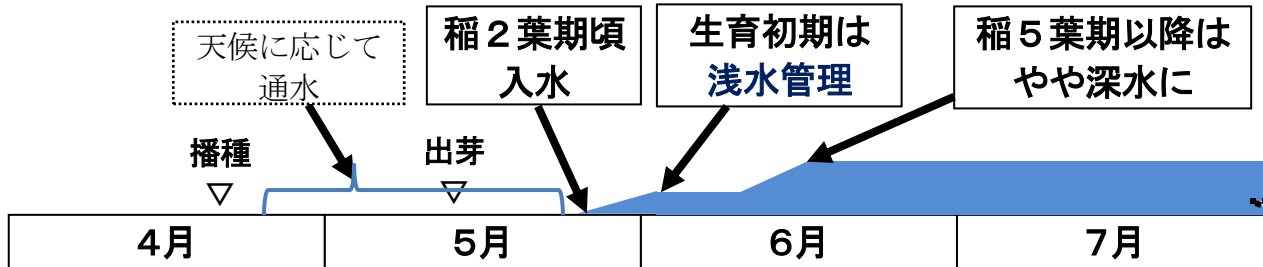
- (1)排水不良条件では苗立率が低下するため、本葉が2枚出るまでは、ほ場内に水たまりが出来ないように排水対策を徹底しましょう。
- (2)播種後、長期間無降雨日が続いた場合は、播種後1週間目と2週間目に通水処理(1~2日程度の浅水管理後に強制落水)を行って、出芽を促進しましょう。
- (3)本葉2葉期になったら、遅れないように入水し湛水しましょう(水を切らさない)。
 - ① 出芽している個体のうち2枚目の葉が展開しているものが半数を超えたら入水します。(苗立ちが1m当たり30~40本程度、そのうち15~20本程度が2枚目の葉を展開)
 - ② 必ずほ場全体の出芽状況を確認してから入水しましょう。
 - ③ 入水が遅れると、稲の生育が遅れるとともに雑草の繁茂につながります。
- (4)入水後は、抑草効果と肥効を持続させるため、収穫間際まで湛水管理を行いましょう。
 - ① 生育初期は浅水管理とし、草丈の徒長に注意してください。(なお、田面が固くなっているため、中干しを行う必要はありません。)

2葉期頃の稲



【播種後の水管理のイメージ】

※4月下旬播種の場合

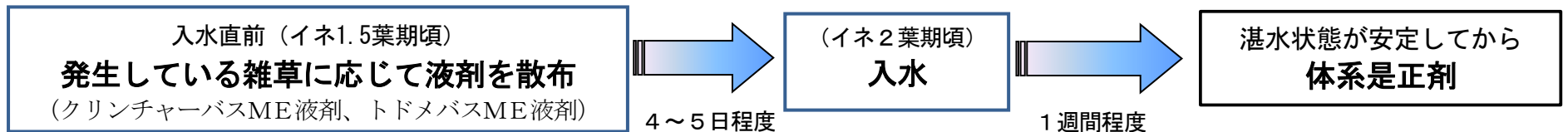


※田干しは、田が湧いたり、藻が多発した場合等によりのみ実施する。

2 入水前後の雑草防除

~雑草の発生状況を確認し、除草剤を適期に散布!~

【入水前後の雑草防除】



【除草剤の使用例】

散布時期	除草剤名	散布量 (10a 当たり)	備考
入水直前	クリンチャーバスME液剤	薬剤1000ml 希釈水量70~100l	播種後10日~ノビエ5葉期まで 散布後3~4日間は入水しない
	トドメバスMF液剤	薬剤1000ml 希釈水量70~100l	播種後10日~ノビエ6葉期まで 散布後3~4日間は入水しない
入水後 1週間程度 (雑草の発生状況に応じて)	ベッカク1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期~ノビエ2.5葉期まで
	ジャンダルムMX1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期~ノビエ3葉期まで
	クサウェポン1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期~ノビエ3葉期まで
	レブラスギア1キロ粒剤	1kg	イネ1.5葉期~ノビエ3.5葉期まで
	ウィードコア1キロ粒剤	1kg	イネ3葉期~ノビエ3.5葉期まで

ヒエの生育は稲より早い!



- (1)ヒエなどの雑草は稲より生育が早いため、気が付かないうちに葉齢が進んでいます。入水前の液剤は遅れないよう、天候のよい時に丁寧に散布しましょう。特に、出芽前の非選択性除草剤が散布できなかったほ場は、雑草の発生状況を確認し、早めに液剤を散布しましょう。
- (2)クリンチャーバス等の液剤は残効性がないため、薬剤がかかった草にしか効果がありません。入水後の除草剤は確実に散布して下さい。(入水後、減水が少なくなり湛水状態が安定してから散布しましょう。)
- (3)入水後の除草剤は、「直播水稻」で登録のある剤を使い、決められた使用回数等、使用基準を遵守しましょう。

春の農作業安全運動実施中(3月1日~5月31日)~農作業事故ゼロを目指して、事故防止対策を徹底しましょう!~
 農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう!